

# ネウボラとは

ネウボラとは、フィンランド語で「相談の場」という意味です。

ネウボラでは、妊娠期から子育て期まで、切れ目ない支援を実施することを目的とし、妊娠を望むもの、妊産婦及び乳幼児とその保護者に対して、妊娠・出産・育児に関する各種サービスの提供や助言・指導、情報提供などを実施します。



# 開設場所

開設場所は、市役所2階の健康づくり課と子ども政策課の間です。

窓口には、ゆっくり落ち着いて相談ができるように着座型の対面カウンターが設置され、プライバシーへの配慮が必要な相談向けに専用の相談室を設けたほか、キッズスペースや授乳室も完備していますので、小さなお子様連れでも安心して相談ができます。





# ネウボラざまりんの職員体制

## ○母子保健コーディネーター（利用者支援事業母子保健型）

母子保健事業に関する知識を有する専門の保健師等を、母子保健コーディネーターとして配置します。

担当＝健康づくり課

## ○子育てパートナー（利用者支援事業基本型相当）

子育て世代が利用できるサービス等の知識が豊富な職員を子育てパートナーとして配置します。

担当＝子ども政策課





# ネウボラざまりんの主な仕事

- ①妊産婦・乳幼児等の実情を把握すること
- ②妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導を行うこと
- ③支援プランを策定すること
- ④保健医療又は福祉の関係機関との連絡調整を行うこと

子どもに関する総合相談窓口として、適切な各課担当者や機関にしっかりと相談者をつなぎます。



# ネウボラざまりんの役割

